

令和7年度

# 幼稚園だより 2月号

文京区立小日向台町幼稚園

## 遊びを通した学びを深めるために

副園長 川畑 優

北風が吹く中、園庭の梅の花が咲き始めました。春の到来を楽しみにするとともに、年度末に向けて幼稚園では、来年度の教育課程を作成しています。

作成に当たっては、保護者や地域の皆様からの評価をもとに今年度の教育活動を振り返り、次年度へ向けて改善を図っています。その内容の一部、遊びを通した学びについてお伝えいたします。

令和7年度幼稚園評価の回答率は85%でした。(配布41名、回答35名)  
そのうちの質問3【いろいろな遊びに繰り返し取り組む中で、充実感を味わうようになった】に「そう思う」と回答した割合は94%、さらに質問6【身近な事象に関わる中で、好奇心や探求心が育まれてきた】に対する同割合は89%であり、どちらも前年と比べて10%以上増でした。

一人一人の子どもが遊びを通して考えたり、試したり、表現したりする経験を積み重ね、学びに向かう力を養っていることを、保護者の方感じていただけて大変嬉しく思います。

幼児が遊びを通して学びを深めるためには、教師の指導改善が重要です。今年度の園内研究では「表現を楽しむ幼児を目指して～幼児の思いを実現させるための教師の援助や環境構成～」について事例検討や研究保育を行ってきました。教師が学年の枠を超えて、多様な視点で保育を振り返り、教材や言葉の掛け方を改善することで、子どもの遊びの充実につながっていくと考えます。

現在、小日向台町幼稚園には、子どもたちの表現が溢れています。道具や材料を選んで何かを作ったり、好きな生き物になりきって動いたりするなどです。2月の子ども会では、一人一人が表現を楽しんだり工夫したりする姿をぜひご覧いただき、成長を感じていただければ幸いです。

3学期も残り約2か月となりました。子どもたちが元気いっぱい遊び、いろいろな人と関わる中で様々なことを体験することができているのも、保護者の皆様、小学校をはじめとした地域の皆様の多大なるご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。



型抜きができたよ。  
チョコレートケーキを食べよう。



チョコチョコチョコチョコキ・・・  
お面とエプロンを付けて、お料理中。



雪だるまの鼻、どうしようか。  
友達と相談して作ろう。